

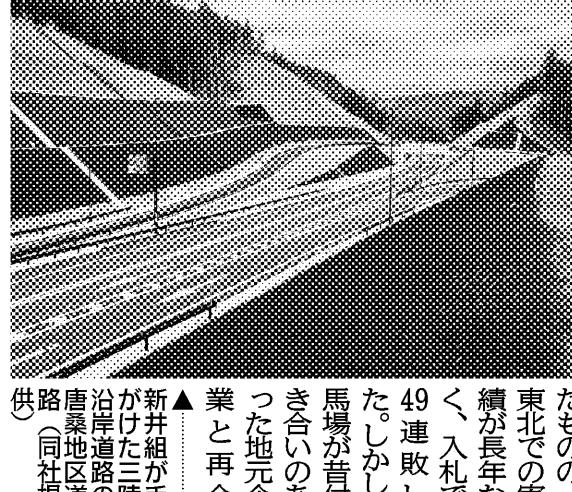
新井組

2008年10月に民事再生法の手続きを行つた新井組。以前から稼働中の官庁工事を除いて仕事はゼロになつた。そんな中、地元の兵庫県の得意先から

一地区の復興や発展を
支えてくれた“新井組
さん”だから」と少しおつ仕事を請け負つた。

4

社員が幸福になる会社



▲新井組が手かけた三陸沿岸道路の唐桑地区道路(同社提供)は、震災後、即ち開設した。工事業所を構えたものの、東北での実績が長年なく、入札で49連敗した。しかし馬場が昔付き合いのある地元企業と再会

内容で日本一の会社に

し、協力して橋梁の下部工工事の受注に成功した。これが実績につて次々と道路工事を手がけた。こうして新井組は東北を縦断する復興道路「三陸沿岸道路」の建設を支えた。

各現場では近隣住民の工事への理解を得ることが重要であった。多くの社員は阪神淡路大震災で被災した経験があつた。社員は被災者である東北の住民に誠心誠意寄り添うことで理解を得た。地元では、全42件の復興事業で平均80点という好成

こうして信頼と実績を積んだ同社は、再建ではなく発展期に移つた。14年には一度手放した本社ビル（兵庫県西宮市）を買い戻し、成長を確かなものにした。

堅実な成長

震災経験を生かして開発した耐震補強工法の普及や産学官連携による新規事業の立ち上げに挑戦しながら堅実な成長を掲げる。「新井組は内容において日本一の会社を目指す」（馬場）と宣言する。

さらに続けて、「社員が幸福になる会社」の重要性を語る。それは「建設事業を通じた社会貢献」を望む社員一人ひとりを大切にしたいから。馬場は機会があれば「誠心誠意打ち込むことで、道は開ける」と社員に説く。

3代目社長の新井辰一が制定した経営理念を馬場の言葉で継承し、社員の自己実現を果たす企業に向かっていく。

（敬称略）
(+)の項おわり。神戸・会津陸人が担当しました